

私たちのまちは 私たちで守る 「もしも」に備えてだれでも参加できるのが 消防団です。



消防団は、消防組織法に基づき設置されている岩国市の消防機関です。幅広い年齢層の人たちが他に本業を持ちながら「自らの地域は自らで守る」という精神で消防団員として活動しています。今回は地域の安心・安全確保のために大切な役割を担う消防団について紹介します。

図危機管理課 ☎ (34)0019

消防団員と 消防職員の違いは？

消防団員は非常勤特別職の地方公務員として火災や災害発生時などに自宅や職場から現場に駆け付け消火活動などを行っています。一方、消防職員は専任の職員として消防本部や消防署に勤務しています。

消防団の 活動

それぞれの地域における消防防災のリーダーとして、消防署とともに火災時の消火活動を行うのみならず多様な災害時の救助活動、見回り活動などを行っています。平常時にも訓練や機材の整備・点検、防災啓発活動、地域行事の警備など地域に根ざした活動を行っています。



1. 災害時に備えて定期的に放水訓練などを行っている 2. 非常時に備え救命講習を受講している 3. 定期的に消火栓の位置や防火水槽の水位なども確認 4. 毎年行われる消防操法大会に出場し、技術力の向上を図っている

新人消防団員さん ちょっと聞かせて

消防団員は仕事や生活をしながら、緊急時には消防・防災活動をし、地域の安全を守る地域住民の皆さんです。入団のきっかけなど、話を聞かせてもらいました。



御庄分団
高林 佑三さん



団本部
山根 璃菜さん

入団のきっかけや周囲の反応は？

もともと父や兄が消防団員だったこともあり、身近な存在でした。地域の消防団から誘われ、消防団の活動を知る中で地域とのつながりや団員同士の使命感などに魅力を感じ、入団しました。家族から「お父さんかっこいいね」って言われると誇らしい気持ちです。

今後どのように活動していきたいですか？

消防団の活動が人の命を救うことにつながることを意識して、人のため、町のために地域貢献していきたいです。自分たちの姿を見て消防団に興味を持つ人が増えたらうれしいです。

入団のきっかけや周囲の反応は？

友人に誘われたのがきっかけです。声を掛けられたときは、ボランティア活動なのかな？というくらいの気持ちでしたが、地域を支える活動をしていることを知り、入団を決めました。家族は、私が決めたことを応援してくれています。

今後どのように活動していきたいですか？

私はまだ学生で、周囲にも学生が多く消防団を知らない人が多いので、同年代の人に消防団について興味を持ってもらいたいです。そのために、イベントなどでの広報活動にも力を入れていきたいと思っています。

Recruiting!

消防団員を募集しています

- 対象** 市内に居住または通勤、通学している18歳以上の人
- 報酬等** 消防団員としての役務に対し、各階級ごとに年間一定の金額が報酬として支払われます。また災害や訓練などの出動に対し、手当の支給があります。5年以上勤務し退団した場合には年数などに応じ、退職報奨金があります。
- 災害補償** 消防団活動により負傷した場合などには、公務災害補償制度に基づき補償を受けることができます。
- 被服の支給** 消防活動に必要な被服や消防団の制服を貸与します。
- 表彰制度** 顕著な功労・功績があった場合に表彰があります。

※詳細はホームページを確認してください



ホームページ

